

常陸大宮大賞決定

本市の知名度・イメージを向上させ、「元気なまち常陸大宮づくり」につながる取り組みを行っている個人・団体を表彰する「常陸大宮大賞」の授賞式が行われました。受賞者は、平成30年度に、各分野で特筆すべき功績を上げた方や地域のために精力的に活動された方など4組です。

授賞式では、西の内紙で漉いた賞状と市産材のケヤキに奥久慈漆が塗られた記念のカップが手渡されました。受賞者の皆さんおめでとうございました。



	受賞者	主な功績	(敬称略)
1	ひたち JA 常陸 おおみやちくえだものぶかい 大宮地区枝物部会	平成30年大日本農会「農事功労者表彰緑白緩有功章」受賞。平成30年関東農政局「ディスクカバー農山漁村（むら）の宝」優良事例選定。平成17年に9人で3.8ヘクタールに花桃の栽培から活動を始め、現在の部会員は109人。耕作放棄地の解消や景観の美化、会員の所得向上などを目指し、年間販売額1億円を超える産地に成長させました。このような活動が優れた事例として評価されるとともに、新規就農を目指す若者にも影響を与え、地域活性化に大きく貢献しています。	
2	こいずみ たくや 小泉 拓也	青年技能者の技能レベル日本一を競う技能競技大会である、第56回技能五輪全国大会電気溶接の職種で銀賞を獲得しました。選手紹介の中で、出身地「常陸大宮市」が大きく掲載され、全国への大きなアピールになりました。	
3	はぎの えい 萩野 瑛	プロット担当の萩野瑛さんと執筆担当の鮎川颯さんによる作家ユニットふるたてん「女王はかえらない」で第13回『このミステリーがすごい!』大賞を受賞し、2015年に同名義でデビューしました。「偽りの春」で第71回日本推理作家協会賞短編部門を受賞しました。	
4	ひやま ちかげ 檜山 千景	日商簿記検定2級合格。企業の財務担当者に必須で、商業高校などで修得を期待するレベルである2級に中学生が合格したのは県内初のことです。檜山さんが受けた試験では全国で約5万人が受験し、合格率は約30%でした。	

受賞者代表あいさつ



JA 常陸大宮地区枝物部会
部会長 石川 幸太郎 氏

常陸大宮大賞という極めて名誉ある賞をいただきありがとうございます。
 市の特産品に認証されている奥久慈の花桃が、東京市場でも全国1位の品質といわれ好評をいただき人気を集めています。枝物部会では、枝物による生産振興だけでなく枝物をとおして地域を元気にしたいと考え、小瀬高校の全国高校生花いけバトル全国大会出場への支援や、枝物に親んでもらうための装飾展示も行っています。また、東日本大震災で大きな被害を受けた福島県浪江町の生産者と連携して、枝物による農業復興支援に取り組んでいます。
 平成最後の年にこのような賞をいただいて身が引き締まる思いを新たにしています。この枝物部会の活動を発展させ、常陸大宮市が枝物の聖地として全国から認められるような産地づくりを仲間とともに進めていきたいと思っています。この受賞を機に部会員も次のステップに進んでいけると思いますので、皆様のご支援をいただきながらこれからも努力をしてみたいです。